

▼表 3-5-7-3 林業分野の主な調査・研究の概要

【林業振興課】

研究機関名： 林業技術総合センター		
1	調査研究名	クロマツ苗の無性繁殖による大量増殖技術の開発
	期 間	平成25年～平成27年度
	目 的	被災した海岸林の再生に向け、松くい虫抵抗性クロマツ苗を大量供給する。
	概要及び成果	挿し木に適する挿し付け用土を確定するため、各種用土に抵抗性クロマツ実生苗から採取した挿し穂の挿し付け等を実施した。
2	調査研究名	効果的なニホンジカ保護管理の推進を目的とした生息状況調査と森林影響度調査
	期 間	平成25年～平成29年度
	目 的	森林環境等への影響が懸念されるニホンジカの適正な保護管理を行う。
	概要及び成果	ニホンジカのモニタリング調査等を実施した。
3	調査研究名	マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ実生家系の評価とさし木品種の開発に関する研究
	期 間	平成24～27年度
	目 的	マツノザイセンチュウに対して抵抗性を有する品種を開発する。
	概要及び成果	短枝を利用した発根試験を実施し、短枝からの苗木生産の可能性を確認した。また、平成25年度に、マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ品種として2品種が認定された。
4	調査研究名	里山広葉樹林の管理技術に関する研究
	期 間	平成22年～26年度
	目 的	高齢化した里山広葉樹林を多様性に富む森林に誘導・管理する施業技術を開発する。
	概要及び成果	高齢化した里山広葉樹林の林分構造調査を実施した。また、林冠木の抜き伐りによる光環境の改善を行い、開空度の変化と高木性稚樹の発生状況についてデータを蓄積した。
5	調査研究名	木質バイオマス再生利用技術の開発
	期 間	平成24年～平成26年度
	目 的	木質バイオマスの再生利用技術と利用モデルを開発する。
	概要及び成果	植生基盤や土壌改良材として、木質チップと下水汚泥堆肥を利用した施肥効果試験を行い、植栽木等の生長量調査により性能を確認した。